



庁舎の窓口時間短縮 早すぎたのでは

中村 文武議員

他市も導入している。早すぎではない

企画政策部長

問 佐織庁舎の混雑について根本原因は。

答 特定することは難しい。

は周りと比べてではなく、コンビニ発行の割合が少ないので、窓口職員を時差出勤にして対応できたのでは。

答 会計年度任用職員は9時から16時を中心勤務し、状況に応じて前後半で時差出勤することは所属長に一任しており、これまで対応してきた。

問 早すぎるというの

答 本年12月までに本市を含め10市で実施している。令和8年1月には西尾市、東海市、尾張旭市、あま市が導入予定。本市の実施時期が早過ぎるとの認識はない。

問 庁舎窓口時間短縮は早すぎたのでは。

問 税務相談や福祉相談等は、本庁に確認するので、混んでいるのでは。

答 連絡に時間を要することもあるが、マニュアルのさらなる整備と職員個人のスキル向上により、待ち時間をできる限り短くするよう努力を続ける。

問 事例検討会等の取り組みをしてみては。

答 現在は実施していないが、今後は窓口受付時間短縮により創生された時間を活用し、事例の解決方法等を共有する等、混雑の緩和に向けた検討を進める。

財政難稼ぐ視点は

問 福原分校、旧八開庁舎の有効利用は。

答 福原分校は現在民俗資料等を保管しており、これまで対応してきた。

問 ナゴヤ球場誘致は、副市長以上の見解を。

答 もし新球場が建設されれば経済効果の活性化や観光振興など、本市にもプラスの効果が期待できる。情報収集に努める。

企業誘致を積極的に



▲ナゴヤ球場と練習場